

【問題】「政治経済〔理系〕」（高校3年）定期試験 2016 年度

増 田 博 一

地歴公民科に属す科目で、本校では高校3年生で実施している「政治経済」ほど、時代に影響を受けやすいものはない、と私には思われる。それは、時局やさらには政局に阿るの謂いではなく、現在・短期・長期・超長期のタイムスパンのなかで、いま現在において何を最も重要とみなし、かつ如何なる意味づけにおいてその判断行為がなされているか、を明らかにする責務を負っていると考ええるからである。

当初においては「対談」形式をとり、最終的には「座談」形式の試験問題に辿り着いたのであるが、それは「対話法」や「弁証法」といった思想の語り手法への思い入れでなく、いろいろな関心をさまざまに議論することに最も適していると判断したからに他ならない。授業進度に応じて、議論される対象はたとえ同じであっても、その議論構成を基礎づける議論地平は深化され重層的で立体的なものとなっていく。それは、座談参加者の教養小説ビルドゥングス・ロマンのごとき進展をもたなければならないであろう。時に座談参加者は対立し、あるいは結ばれ、エンディングを迎える。しかしながら、必ずしも「大団円」に終結することはないのである。なぜならば、現実の世界は、今まさに、開かれたままであるからだ。その意味で、座談会は、教室という場をかりた、現在への投企である。

さらに、2016 年度においては、理系クラスにおいて文系クラスと異なったプログラムを実行する許可を得た。中央大学への内部推薦において理系クラスから法学部や経済学部等への「文転」制度があるため、文系クラスの授業内容と5割程度を共通化する必要がある。このため、政治経済学的事項における基本は文理共通を心がけ、文系ではより立ち入った議論をする一方、理系では「資源物理学」視点とりわけ「エントロピー法則」観点からのアプローチを企てた。かつて、文理別の進路方向が明確であった頃に試みた資源物理学的政治経済学を、「3.11」後に再びチャレンジする機会を与えていただいた訳である。

思うに、わが国では科学史やさらには科学思想史の講座が、文系からも理系からも排除されている。「受験」の弊害というより、根本的に実学偏重の社会的傾向をもたらすべく、教養を軽視した、生活の知恵より「科学技術」を絶対視する誤った政策が行なわれている。

そのような中、本校図書館司書教諭平野誠先生の御慫慂で、「ニュートンと錬金術」と題した患生選の書籍展示の機会に恵まれた。その第2弾「アインシュタインとその遺産」を計画したが、力不足から実現できずに終わり、申し訳ない限りである。この場をかりて、平野教諭はじめ図書館スタッフ皆様の御助力と御支援にたいし感謝の意を記しておきたい。

年度初めの「スタディ・ガイド」に、ガイダンスとして、「授業への心積り」を述べた。共に「政治経済」を担当した木下友美子先生のご同意を得て、小生の文責にて記したものである。それを再掲し、全体への道案内としたい。

くまび：こんにちは。政経は、木下友美子とまっぴいが担当です。理数系はまっぴいが担当予定ですが、文系クラスの担当は4月になるまでどちらになるか（私たちにも）わかりません。ここでは、二人の心積りをお伝えしたいと思います。私まっぴいは四半世紀以上も『政治・経済』を担当してきた年寄で賞味期限(?)は残り1年です(苦笑)。木下先生は本校卒業生の法学専攻で本校教壇は4年目になります。それでは、初めのご挨拶から行きましょう。

ゆみ：はい。楽しい楽しい政経が始まります！（笑顔）

私が中附生のときに一番好きな授業だったかもしれない政経です！（さらに笑顔）

まび：わーっ。いきなり来ました(笑)。それって「まび政経」ですよね(ウレピー)。先生にとって、いったい何が政治経済の魅力なのでしょう？

ゆみ：そうですね。卒業式の後「政経がとても楽しかった。政経の先生を目指したい」という感想をたくさん戴きましたが、政経の魅力は「今を考える」ことだと思います。「今」という時代を真剣に見つめ、自分の立ち位置とこれからを考えさせてくれる科目なのではないでしょうか。

まび：「3.11」（東日本大震災と福島原発事故）から5年、安保法制法が成立し、「憲法改正」が叫ばれています。経済では、実質賃金の減少と日銀マイナス金利導入で国民生活の困難が増えています。

18歳選挙権が実施に向かう中、衆参同時選挙など囁かれています。選択の年になるでしょう。

ゆみ：米国大統領選の候補選びも、格差や既存政治家への不信を背景に予想外の展開となっています。

まび：アメリカ合衆国内部での経済格差は激しく、500人に1人がホームレスという現実から「1%が99%を支配している」との現状への批判がおきているのです。「イスラム国〔IS: Islamic State〕」に加わる若者の背景には、世界的な格差の拡大深化があると言えそうです。

ゆみ：ISに関連したシリア情勢の厳しさは、なかなか打開できないでいます。大量の難民が欧州に押し寄せ、ギリシャ問題を抱える欧州はユーロ危機とあいまってEUの未来が問われています。難民や移民などを排除しようと主張する政治家や政党、政治団体が声を大きくしてきている現実も無視できません。日本では「ヘイト・スピーチ」規制がようやく現実課題となってきたレベルです。

まび：こうした世界と日本の現在情勢の中で政経の授業をすることは、とても緊張感あるものです。

ゆみ：はい。国際社会においても自国利益を押し出す傾向が顕著です。中国の海洋進出は東アジアにとって大きな難題となっています。尖閣問題は、このような国際情勢の中にあることを認識して、日中が解決しなければならない問題の一つです。

まび：尖閣諸島のある沖縄は、辺野古への基地移転と新施設建設をめぐり政府と対話を続けています。

私たちはアジア・太平洋戦争に敗れて以降の70年間できちんと総括すべき時機にあると思います。

ゆみ：わたしは、日本が敗戦後70年間にわたり自ら戦争をしなかったのは日本国憲法によるところが

大きかったと考えています。第二次大戦さかのぼって第一次世界大戦にはじまる「世界戦争」期、そしてその後の「冷戦」期を、法学や政治経済学から考えてみたいと計画しています。

まび：なるほど。私は、20世紀後半は人類史にとって特異な時期であったと見ています。そして、現在は、さらに近代という時代の長期にわたる「文明転換の時期」に入っていると考えています。

ゆみ：近代は国家の時代であると同時にグローバル化の時代だったと言えます。そして、グローバル化した現在では、国家には出来ないことがあります。また同時に、国家にしか出来ないこともあると思います。わたしは、各国の憲法を尊重した国際社会の構築を課題にしてみたいと考えています。

まび：資源環境問題は、グローバルであり、かつ国家を基本単位として連携協力しなければならない典型的な問題といえます。理数系クラスでは、科学史・技術史そして背後にある学問と時代思潮をあわせて考えてみたいと思っています。文明構造とその観念の転換を年間テーマにしたいのです。高校三年間の社会科の締めくくりとして、社会科学はもちろん人文科学や自然科学の知にも学んで総合的判断が下せるような人間を目指したいのです。

ゆみ：はい。政経では、自分の考えだけで世の中や物事を見るのではなく、政治、経済、法律、社会、思想、文化など多面的に考える見方を身につけてほしいと思います。難しい思想背景や概念が多く出てきますが、表面や形式を知識として理解することで止まらず、その根本を掴んで自分で使えるようになるまで頑張してほしいです。選挙年齢が18歳に引き下げられ、さまざまな法律がそれに伴い改正されますから、「知らない」じゃすまされないのです。これからの時代を担う「世界公民」をめざしてほしいと思います。

まび：う～ん。なかなか良いイントロになりましたね（自賛）。それでは、開講の宣言をしましょう。

二人：さあ、「政治経済」を自分の頭と身体で考え、未来へと希望をつなげよう！

次ページ以降、理系クラスの4期にわたる「予定表」と4回の定期試験問題を掲載する。2016年度3年I組J組諸君には、十分に数学ツールを使いこなせない私の文理にまたがるキワドイ授業にお付き合い頂いたことに、この場をかりてあらためて感謝の意を表したい。

私事になるが、本年度末をもって小生は定年退職を迎える。私のような曲者に、自由な授業展開をお許しいただいた学校長小杉末吉先生に到る歴代の校長先生方、諸先輩および同僚の社会科・地歴公民科の諸先生方に、言い尽くせない感謝の念を記させて戴きたい。

皆様、ありがとうございました。

（参考）本『教育・研究』誌上で発表した、以下の拙稿を御参照いただければ幸いである。

- ・【書評】ハンス・イムラー著『経済学は自然をどうとらえてきたか』栗山純訳 8号（1994）
- ・エントロピー学派の「経済学」構想——【書評】『循環の経済学』『経済学の方転換』 9号（1995）
- ・【高校生のための学習パンフレット】歴史としての資本主義 11号（1997）
- ・【高校生のための学習パンフレット】環境問題をどう学ぶか 12号（1998）
- ・【高校生のための学習パンフレット】グローバリゼーションとは何か 14号（2000）

2016年度【理系】政治経済 予定表①-危機と文明転換-担当:増田(まび)

科学と技術の思想と實際を歴史社会の中でたどりながら、あるべき技術と学問の姿勢を問いたい。ただ国
学として国家支配に奉仕する科学であってはならないだろう。まず、近代の創生という文明的転換が国家
という枠組とともになされたことを見よう。国家と市場経済の制度的な仕組みを明らかにしていくなか
に技術や芸術の果たすべき役割を考えたい。技芸が「支配の学」に取り込まれないで、自然と人類のための
術策として意義を持つためにはどうすればよいのか、考えたいのである。政治家や科学者の「倫理」のみ
の問題としてはいけないだろう。思想や考え方の「構え」をあらためて問いかけてみたいのである。こ
こあるいは以前に存在した思想の背景地盤を掘り起こせば、新しい発見や展望が見えるかもしれない。つ
まりは、現在を大きな文明転換の時期と捉え、これまで無自覚的に重ねられてきた「科学革命」のあらわれ
方を検証して自覚的な展望へとつなげるのである。厳しくて難しい道だが、我々はすでに歩みだしている。

[一学期前半]近代「国家の時代」の創生を技術・言語・学問から辿り、貨幣の「関係論」的把握を試みる。

0	重力の謎と数学	I. Newtonは「私は仮説は立てない」と主張したが、その意味することとは ガリレイからニュートンへ、『自然哲学の数学的諸原理』、仮説とは何か
1	政治的なもの	「平和で安全な生活の維持=合意と公共性の実現」と「万有引力の法則」把握 自然状態論の虚構性、法制度と法則把握、機械論的思考、関係学と現象学
2	近代国家の創生	西欧中世の地域分権とキリスト教会秩序を破壊し中央集権国家を形成する 国家語の創造、実定法と官僚制、<nation-state>枠組、<主権>概念の創造
3	16世紀文化革命	人々は国家という新しい近代枠組みの中で国民生活を余儀なくされていく 軍事革命と力学、俗語と商人算術、文書から経験へ、近代初めの資源問題
4	17世紀科学革命	文明転換につながる思考の「パラダイム転換」はどのようにおこなわれたか T. クーン『科学革命の構造』、国家推進の「通常科学[normal science]」
5	ニュートン金貨	造幣局長官を務めたニュートンは自宅では錬金術文献を漁り実験していた 法貨と国家利益、貨幣の信用とは、貨幣の機能、金への愛から信用貨幣へ
6	貨幣信用の展開	国家貨幣から今日の中央銀行不換紙幣への変遷から市場経済の本質を探る 銀行券信用の背後にある債権債務関係とは、イングランド銀行の国債引受
7	銀行制度の機能	銀行の役割から資本主義市場経済の根幹に関わる金融の機能と特徴をみる 信用創造、銀行の銀行、為替と国際資金決済、国際基軸通貨ポンドへの道
8	英国覇権の構造	「パクス・ブリタニカ」と称された英国覇権の構造から覇権とは何か考える ジェントルマン資本主義、科学・技術と人間・資源の組合せ、「世界の銀行」

生命は言うまでもなく単独では存在も存続もできない。しかし、原子論的存在了解が時代の思潮だ。いつ
活動するものの全体連関に思いを到らせられるのか。現象記述の学とは別に、存在を問う形而上学の試み
の意義を、改めて考えてみてはどうだろうか。グローバル時代はテロや金融だけではない。環境はいつか
技術的対応だけでは維持できなくなるだろう。増加する酸性雨やPM2.5 あるいは放射性物質拡散の深刻さ。
芸にも学にもならぬとしてうち捨ててきた生活の知恵、その知の宝庫に今一度立ち返って考えてみたいね。

[一学期後半]国家とタイアップした近代科学技術の展開相とエントロピー増大則の確立意義を見定める。

② 次の会話を読み、(1)～(29)は最適選択肢記号を、①～⑩は指示に従い適切な記号を、空欄(ア)～(オ)には適する人名や語句を答えなさい。さらに、下線部【A】【B】に関する論述問題に答えなさい。

Mapi : はあーい。安心して下さい。ついてます！『mappy & ちゃうびい 政経教室』【理系篇】です。

ちゃうpi : チャオ。ちゃうびい⑩で一す。こっちは肩の力カピバラ きゃつびい⑨ だよ

Wくん: うわっつ！増員してるっ！カピバラ隊と政経って何の関係があんの？mappy わけわかんない！

Xくん: それに、季節がら ちゃうびい 暑苦しいんですけど。

Yさん: ねえねえ、きゃつびい かわゆいです♡ 肩のり 上手だね♡ ハゲシーmapi トークを癒してください♡

Wくん: それは、無いんじゃないかな。「自分の頭と身体で考える」って、mapi は くりかえし言ってたよ。

Zさん: 18歳選挙権がスタートするから、「自分で考える」って大事だと思うよ。この夏の国政選挙としては、(1){(a)衆議院議員選挙だけ、(b)参議院議員選挙だけ、(c)別日程で衆議院と参議院の議員選挙、(d)同日に衆議院と参議院の議員選挙}がおこなわれる。18歳誕生日を迎えて選挙人名簿に載れば、初めての選挙を体験するんだ。しっかり自分で考えてみたいな。昨年9月に成立した(2){(a)安全保障関連法、(b)特定秘密保護法、(c)一億総活躍推進法、(d)財政健全化法}をきちんと学習しておきたいんだ。

Yさん: 今国会で公職選挙法等の改正で衆議院議員定数が(3){(a)小選挙区6増・比例区4増で合計10増、(b)小選挙区4増・比例区6増で合計10増、(c)小選挙区6減・比例区4増で合計2減、(d)小選挙区6減・比例区4減で合計10減}し465になったけど、この実施は来年春以降で、人口比を現行より正確に反映した「アダムズ方式」導入による全面的見直しは2020年の国勢調査の結果が出てからということになりました。最高裁が「違憲状態」とした「一票の不平等」は、しばらくは続き、都会の18歳と過疎地の18歳で「一票の不平等」があるということになります。こういったことに関心を持たなくてはいけないということでしょう。

Xくん: 明日にはG7サミットが(4){(a)和歌山県賢島、(b)宮城県仙台、(c)愛知県竹島、(d)三重県志摩}で開かれるけど、(5){(a)ロシア、(b)カナダ、(c)イタリア、(d)イギリス}は参加しない。これは、(6){(a)シリア、(b)イラク、(c)ウクライナ、(d)IS(イスラム国)}問題が発端だ。

Zさん: 明日からのG7サミットで、安倍首相は(7){(a)マイナス金利、(b)財政出動、(c)難民受け入れ、(d)国連軍創設}を各国に要請する予定だけど、この提案には各国首脳はあまり乗り気ではないようだ。日本は、G7のなかで累積国債残高が国内総生産(GDP)に対し(8){(a)最も高い、(b)G7平均値に近い、(c)米国に次いで低い、(d)最も低い}んだけどね。G7サミット合意に注目したいところだ。

Wくん: G7サミット来日にあわせてオバマ米国大統領は(9){(a)福島、(b)広島、(c)長崎、(d)沖縄}を訪問予定だが、彼の任期は残りあとわずか。米国大統領選の予備選挙が行なわれているけど、トランプ氏が(10){(a)共和党、(b)保守党、(c)民主党、(d)自由党}の有力候補となっている。この州単位での予備選挙をみると、アメリカ合衆国は「連邦制国家」なんだとつくづく感じるな。でも、国際社会における「ウェストファリア原則」では、合衆国も一つの主権国家にしかすぎないんだ。他方で、USDollarは合衆国の法貨でしかないのに、〈国際基軸通貨〉となっている。主権国家、市場経済、国際社会、そして地球という環境に住む人類社会をどう捉えていくかを mapi は課題とし、それに科学や技術の思想をあわせて考えようとしている。

Yさん: あれ、W 君って「mappy わけわかんない!」とか言いつつ、結構 mapi 政経にはまってるようですね。

Wくん: てへっ。褒められたのかな。じゃあ、ちょっと復習するね。mapi の整理によれば、近代という時代は「国家の時代」そして「科学技術の時代」として特徴づけられる。ジャン・ボダン[J. Bodin]が(11){(a)14、(b)15、(c)16、(d)17}世紀に《主権》を(12){(a)最高・絶対なる神から与えられた一般意思、(b)社会契約から発生した最高・絶対な権力、(c)ローマ法王からの戴冠による最高権力、(d)最高・絶対で・永続的な国家権力}として定義して主権概念を創造したように、「国家の時代」はヨーロッパに始まるんだ。

Zさん: 政治学とか国際関係論では、《nation-state》概念つまり(13){(a)〈nation〉と〈state〉の両方を基本単位とする、(b)〈state〉を〈nation〉の基本単位とする、(c)〈nation〉を〈state〉の基本単位とする、(d)〈nation〉による

国際的<state>を形成する}「国家の時代」として特徴づけられているんだ。

Wくん:mapi は、《17世紀科学革命》に先立つ、山本義隆さん提言の《16世紀文化革命》に注目していたね。山本さんによれば、〈16世紀に復活した(14){(a)アリストテレス哲学、(b)ヘブライ物理学、(c)数理天文学、(d)ローマ建築学}と(15){(a)プラトン哲学、(b)ルネサンス人文学、(c)数理地理学、(d)インド中国科学}は、航海術への応用や地図製作という実際のな問題と密接なかわりをもっていた。〉として、《16世紀文化革命》の担い手として(16){(a)聖職者や官僚、(b)スコラ学の教授や銀行家、(c)理髪外科医や職人技師、(d)芸術家とパトロン}に注目すべきだ、というんだ。数学では、1202年に〈商業数学のエンサイクロペディアとして中世ヨーロッパに冠絶する『算数の書』を出版した「(ア (人名:通称)こと ビサのレオナルド)」によって導入展開された (17){(a)ラテン数字と算板による計算法、(b)インド・アラビア数字と算板による計算法、(c)ギリシャ数字の十進位取り表記法、(d)インド・アラビア数字の十進位取り表記法}は、商人の算数教室において普及し、「16世紀数学革命」を導いた。

Yさん:はい。ガリレオ・ガリレイの(18){(a)生まれた、(b)宗教裁判が始められた、(c)裁判のあと幽閉が始まった、(d)亡くなった}年に、アイザック・ニュートンが生まれました。ニュートンは『プリンキピア』を1687年——これは(19){(a)アメリカ独立宣言、(b)名誉革命、(c)フランス革命、(d)ピューリタン革命}の前年という激動している年——に、(20){(a)イングランド語、(b)スコットランド語、(c)ラテン語、(d)フランス語}で出版されました。20世紀の科学思想家ホワイトヘッドが「ガリレオが攻撃を始め、ニュートンが勝利を収めた」と表現したように、《17世紀科学革命》がなされたのです。『プリンキピア』序文には、次の記述があります——

〈この書を(①)の(②)的原理としたのは、(①)のすべての困難は次のことにあると思うからである。すなわち(③)の現象から(④)の緒力を研究し、その力によって他の現象を説明することである。そこで第1巻で(②)的に証明された命題によって、(⑤)の現象から、天体を太陽あるいは惑星に(⑥)があることをつきとめ、ついで、これらの力から(②)的な議論によって、惑星、彗星、月、海の(③)を導き出したのである。私は同様の議論により、(⑦)的な原理から他のすべての(④)現象も導くことができると思っている。何故なら、その現象は皆 次のようなある種の力に依存していると思われるふしが多いからである。その力というのは、原因は分からないが、物質の粒子を相互に引き合わせて形をとらせ、あるいは相互に反発して遠ざけるものである。〉(M. クライン著/雨宮一郎訳より重引)

* 空欄①～⑦に該当する最適用語を下記語群よりえらび、その選択肢記号を答えよ。

【語群】 a)力学、b)数学、c)哲学、d)機械、e)運動、f)目的、g)手段、
h)引力、i)斥力、j)自然、k)人間、m)天界、n)地上界

Zさん:そう。そして《16世紀文化革命》は(16世紀言語革命)を重要な構成要素としているんだ。山本さんは〈イベリア半島の一地方の言語であったカスティリア語が(21){(a)スペイン、(b)ポルトガル、(c)イタリア、(d)フランス}の国語としての地位を獲得し標準化されていく過程〉における印刷術の貢献に注目している。

そのことを踏まえて、山本さんは「多数者へ経験を共有する可能性をひろげる役割」と「経験による多数者による検証の機会」についてのジョン・ヘンリー『17世紀科学革命』の一節を引用している——

〈[ガリレオのように](⑧)でこの課題[検証すること]を解決しようという試みもあった。しかしもっとも好まれた方法とは、(⑨)であった。多くの場合、(⑩)にのっとっていた。……当該実験はすでに何度もくり返しおこなわれており、多くの専門家も見学していると記され、やがてこうした形式が実験報告のあり方として定着していった。〉

* 空欄⑧～⑩に、最も適する選択肢を下記より選びその記号を答えよ。

(a)〈幾何学の教科書の形式〉 (b)〈哲学の思考実験による矛盾のない説明〉
(c)〈公共の場で実験をおこなうこと〉 (d)〈出版物の中で実験を仔細に記録すること〉
(e)〈司祭[聖職者]の前で宣誓しておこなう形式〉

X くん:《17世紀科学革命》の時代は「市民革命」の時代でもあった。1690年に著作『統治論二編』を出版し、ニュートンとも交流があった「(イ (人名))は、その著で(22) {(a)主権とリバイアサン, (b)原子論と自然発生論, (c)自己所有と制限政府, (d)労働価値説と「神の見えざる手」}を主張した。ルネ・デカルトが「神は(ウ)を嫌う」として機械論的な(23) {(a)天球, (b)渦動, (c)平板, (d)円錐)宇宙論を唱えたのに比べると、ニュートンの万有引力論とロックの市民政府論には共通した特徴があるような気がする。つまり、物体や個人といった基本単位が離れてバラバラに存立し、それらが関係しているとする把握の仕方だ。

Y さん:はい。デカルト派からは、ニュートン万有引力論の(力)概念は「オカルトのようなもの」との批判がなされたのです。これに対し、ニュートンは「力の原因や所在を考察しているのではない」として、「万有引力は空間をどのように伝播するのか」とか「万有引力は何を媒介にして対象物体に届くのか」といった事柄に頭を悩ますには及ばないという公式的立場をとったのです。

W くん:しかし、20世紀最大の経済学者ケインズがニュートンのコレクションに大量の「錬金術」関連稿があることを発見して以来、「ニュートンは最後の錬金術師だ」といった言い方で現れたと、mapi は言ってた。これは、そう簡単な問題ではなさそう。

X くん:ニュートンは1690年からロンドンの造幣局の仕事に就いてからも錬金術研究を続けたらしい。僕は、貨幣鑄造にあたって錬金術の知識は大いに役立ったと思うんだ。それ以上に興味深いのは、ニュートンが大蔵大臣宛に長大な「覚書」(1717)を書いていて、そこには「金銀複本位制」についての各国比較や様々な問題が検討されているというんだ。僕には、【A】ニュートンは万有引力論のように、「金銀複本位制」に対する「金本位制」の優位つまり「金本位制統一論」を想定していたように思われるんだ。

Z さん:ひゃーっ。X くんって、ニュートンに負けないくらい、鋭い考察の持ち主だね。

X くん:19世紀後半の国際金本位制を背景に「パクス・ブリタニカ」と呼ばれる時代がつくられた。当時の英国の貿易収支は(24) {(a)黒字, (b)均衡, (c)赤字}で サービス収支は(25) {(a)黒字, (b)均衡, (c)赤字}、所得収支は(26) {(a)黒字, (b)均衡, (c)赤字}。以上三つの合計である「(エ)」収支は(27) {(a)黒字, (b)均衡, (c)赤字}であり、それに国外への直接・間接の投資合計である「(オ)」収支を(28) {(a)加算, (b)減算}した国際収支が(29) {(a)黒字, (b)均衡, (c)赤字}だったから英国ポンドは安定し「国際基軸通貨」の役割を果たしたんだ。古典力学という(normal science)の成立と 国際金本位制の時代をみたら、創始者ニュートンはどんな気持ちになっただろう。

Z さん:ひゃーっ。X くんって、ほんと スゴイ！ で、思ったんだけど、【B】「生物進化論」とか「金融政策」とかあるでしょ。《目的》とか《原因》って思考から完全に排除していいのかなあ？

X くん:わーっ、Z さんこそチョー優等生。公費や助成政治資金の流用を疑われている人に聞かせたいよ！

W くん:時事でるって？ 東京五輪？ 都知事 舛添要一時事ショック！ 「トップリーダー」なのには？

ちやうPi&きゃっぴい:疑惑の輪は5つもかさなり 増すぞえ用意知事辞職？ mapi は どう思う？

Mapi: はあーい。カピバラ隊たたいま増員中。ん、トップリーダー？ いいえトップリーダーです。チャオ！

(安心して下さい。ついています◎)

【ちやうびい問題の正解】もちろん！ ③!!です。①一緒にボートする？ ②じつは「草食系」🐼 ③ちやうPi&きゃっぴい!! [つづく]

【問A】ニュートンはロンドン造幣局長官時代に大蔵大臣に進言し、それが「金銀複本位制」から事実上の「金本位制」へ進める結果となった、とすればニュートンは優れた経済学者の眼を持っていたことになる。《貨幣の機能》を一般的に説明し、そのうちニュートンはどのような貨幣機能に着目して、この進言をなしたと考えられるか、説明しなさい。

【問B】《目的》や《原因》を自然科学や社会科学の思考から完全に排除してよいのか、ニュートンの公式発言と錬金術研究の意図を推測し、論じてみなさい。

問題は、以上です。

☺

ちやうびい
mapi

2016年度【理系】政治経済 予定表②-熱学と資源環境-担当:増田(まび)

ヒトから人類そして人間。我々人類は文明を築き、地球に冠たる存在として君臨している。幾重もの旧約口伝の文化を積み上げ、そこから新たな文化革命と科学革命を生み出してきた。様々な試みと学問の束、シンクロする生活技術、その垣根から新しいものの見方があらわれ、時代思潮となる。もはやこれまでとマンネリ化した惰性の無思考を切り捨てて、新しい見方をわれ先に取り込もうとする。過去の知との相違から学ぶことを忘れてしまう。「流行に乗り遅れるな」式に安易にノーマルサイエンス化に棹さす。そうらしいではなく、その通りでなくてはならないと思ひ込む判断停止のあり方が通常科学だろう。時代一新始めの第一歩を印した革命人の苦悩など過去のエピソードどまりだ。ニュートンの「エーテル」論を批判めいた口調で語って、後世人の優位でしかない驕りに閉塞する。これは学的姿勢ではない。最終的な決断る綴られたそこへ到る草稿、そして決断以降も続けられたニュートン思考の歩み、それを学びたいのだ。

[一学期後半]17世紀科学革命と市場経済は、国家政策を後ろ盾とした科学技術と資本主義へと歴史を進める。

1	エーテルと熱素	「最後の錬金術師」ニュートンの遺志を「古典力学」を超えて受け継ぐために存在論と認識論、エーテル精気、「力学的宇宙論」と「熱学的宇宙論」そして
2	熱学思想の背景	英国森林枯渇危機から地下資源石炭へと動力資源転換を企てた「産業革命」近代初期の動力資源、森林資源と蒸気力、ブラックが温度比から熱容量比
3	カルノーの原理	技術先行の17世紀科学革命と「蒸気機関＝熱機関」と捉えた熱学理論の画期性「理想機関＝可逆機関」、準静過程、熱は平衡を求め移動する、永久機関は無理
4	エントロピー則	熱現象の常識とケルビンとクラウジウスによってなされた熱法則の定式化熱力学第一法則と第二法則、「熱は高温物体から低温物体へ流れる」、熱効率
5	国家と科学技術	国家による政策的選択と誘導が巨大科学技術の成立と方向性を決定づける資源物理学の視点、科学技術と政策、重化学工業と帝国主義、二つの大戦
6	米国覇権への道	金本位国際通貨体制の崩壊がもたらした戦争への傾斜と自由貿易の再建策短期資金と投機、世界恐慌、WWII後の西側国際通貨体制、米国国際収支
7	ケインズ錬金術	「市場の失敗」から「自由放任の終焉」を宣言し市場への政策介入を主張する管理通貨制、《需要が供給を導く》、財政政策と金融政策、美人投票の論理
8	敗戦日本の出発	アジア太平洋戦争の敗戦から立ち直った平和日本が見落としたものとは？米国単独占領、金ドル本位制と固定為替制、1955年体制と日本的経営方式
9	☆18歳選挙権☆	今年実施の18歳選挙権に際し戦後日本の参政権を歴史と今から再認識する戦後初の選挙、サンフランシスコ講和と日米安保、沖縄問題、実際の選挙
10	フォーディズム	アメリカ時代の象徴と言えばアメ車とディズニーとスーパーマーケットだ高生産性と賃金、大量生産大量消費、ケインズ政策と福祉国家、石油文明

オルタナティブを模索しなければならない「近代の黄昏」は、もはや宵闇に近いまでになった。夕暮の安バーで繰言をならべるだけでは駄目なのだ。しっかりと現在する事実をこれまでの歴史と併せて見定め倍マンまで負けこんでいることを真摯に受け止めなければならない。言葉で現実を消せはしない。超最新式演出を試みるにも、舞台と役者は定まっており、観客は過去も外の世界も知っていると考えべきだ。話説は、その場に相応しいものでなければならない。そして今その限定は限りなく厳しい。学ぼう思考方法。

[二学期]核とテロの脅威と金融危機、政治的混迷と地球環境危機から「エントロピー的ものの見方」を探る。

●次の会話を読み、(1)～(30)は最適選択肢記号を答え、下線部【A】【B】【C】に関する問題に答えなさい。

Mapi :はあーい。安心して下さい。ついてます! 『mappy & ちゃうPi 政経教室』【理系篇】第2幕です。

きやっぴ :チャオ。きやっぴい@でーす。ちゃうPi は水浴び中だよ! こっちは、新顔 カワウソ君、ヨロビクワ

Wくん:うわっ! 減量してる! 新入り? カピウソと政経って何か関係あんの? mappy イミフメー!

Xくん:ちゃう Pi も「ライザ〇ブ」? それより、サイズ縮小になる可能性ありなのは、ヨーロッパ連合。英国のEU離脱が残留かを問う国民投票は「離脱」が過半数を超え、(1)【a】保守党、(b)民主党、(c)共和党、(d)労働党のキャメロン首相は辞意を表明した。国民投票って重い決定だね。

Zさん:そうよ。いよいよ18歳選挙がはじまるから、責任を持って「自分で考える」って大事だと思うよ。日本国憲法 § 96は憲法改正について、衆参両議院の(2)【a】各総議員の2分の1以上、(b)各定数充足後の出席議員の2分の1以上、(c)各総議員の3分の2以上、(d)各定数充足後の出席議員の3分の2以上}の賛成で発議がおこなわれ、国民投票において(3)【a】過半数、(b)3分の2以上、(c)投票率50%以上で有効投票の過半数、(d)投票率50%以上で有効投票の3分の2以上}の賛成で成立し、(4)【a】天皇、(b)衆議院議長、(c)内閣総理大臣、(d)最高裁判所長官}が「国民の名」で直ちに公布することを規定している。

Wくん:俺は5月生まれだから、選挙権ゲットなんだ…。でも、試験勉強で直近の選挙のこと、恥ずかしながら、あんまし分かってないんだ。ちょっと教えてよ。

Zさん:私も今月18歳になったばかりだから、今度の参院選から選挙権が行使できるんだ。熱学の勉強の前に、こっちをおさえておこう。憲法と公職選挙法によれば、(5)【a】政治活動と選挙活動はすべて国民の基本的人権の行使として認められる、(b)政治活動は年齢に関係なく認められ選挙活動は18歳以上の有権者に認められる、(c)政治活動は20歳以上の成人に認められ選挙活動は18歳以上の有権者に認められる、(d)18歳未満の者が行なう選挙活動を含む政治活動は学校に属する者については所属校への届出を要する}。7月10日が投票日の参院選は、(6)【a】被選挙権25歳以上で任期4年、(b)被選挙権25歳以上で任期6年、(c)被選挙権30歳以上で任期4年、(d)被選挙権30歳以上で任期6年}の半数改選で、「選挙区」改選数は(7)【a】51、(b)62、(c)73、(d)84}議席、「比例代表」改選数48議席だ。選挙区のうち「1人区」は(8)【a】死票が少なく選挙民の意志が国政に反映されやすいとされる、(b)わずかな票差で当落が分かれるため「野党共闘」が進められている、(c)選挙民の意志が国政に反映されやすいので2020年からは全て1人区制になる、(d)人口激減の県においても最低1人の代表者を選出する仕組みである}。

Yさん:いいな。私は、選挙権はまだです。それに、どっちかってゆーと「リケジョ」タイプ。でも、mapi 政経で科学・技術史とか熱学とか学習してきたら、理系こそ政治に関心持たないといけないうちになりました。今回の選挙争点として、アベノミクス、集団的自衛権行使の安保法制、原発再稼働、憲法改正などがあげられている中で、私は原発問題に注目したいと考えています。オバマ米国大統領の広島演説は感動的でした。でも1953年の米国アイゼンハワー大統領演説を基点として、日本が1955年に(9)【a】日米安保条約締結、(b)日米安保条約改定、(c)日米原子力協定締結、(d)核不拡散条約調印}したように、西側核ブロック＝「核の傘」が作られてきた中で、原子力研究という分野が作られてきた事実を見逃してはいけないうちなんです。2011年の「3. 11福島第一原発メルトダウン」という事実の中で、科学と技術を社会の中、政治経済のなかで考えなければいけないと思うようになったんです。

Zさん:そうね。オバマ演説が言うように、科学と科学に基づく技術の発展は人類の大きな進歩だけれど、それを破壊と戦争に使ってはいけないうちなんだ。mapi 政経が強調していたように、近代は「熱機関の時代」であり、科学と技術がその歩みを促進してきたことを改めて考えてみなければならない。

サディ・カルノーが『火の動力についての省察』を発表したのは1824年。この論文がでる前に(10)【a】アメリカ横断鉄道の完成、(b)冷凍冷蔵船の大西洋横断、(c)ダイムラーによる内燃機関開発、(d)汽船による大西洋横断}が現実のものとなっている。17世紀科学革命にもとづく「力学的世界観」に対し、「熱学的世界観」があらわれてきたんだ。

Yさん:そう。カルノーは「熱の動力(つまり仕事率)」には限りがあるのかどうか、火力機関を改良する可能性

は……どこまでも限りがないのか」と問い、この自問に対し(11){(a)等温膨張→等温圧縮→断熱膨張→断熱圧縮, (b)等温膨張→断熱膨張→断熱圧縮→等温圧縮, (c)等温膨張→断熱膨張→等温圧縮→断熱圧縮, (d)等温膨張→断熱圧縮→等温圧縮→断熱膨張}の4過程からなる理想機関である可逆機関を構想し、それを(12){(a)永久運動不可能, (b)準静過程導入, (c)絶対時間測定不能, (d)絶対空間無限}原理と結びつけ、(熱の動力(効率)は、それを取り出すために使われる作業物質(13){(a)の比重による, (b)の質量による, (c)の拡散力による, (d)によらない}。その量(効率の値)は、熱素が最終的に移動しあう二つの物体の(14){(a)比重, (b)温度, (c)質量, (d)密度}だけで決まる。}との結論にいたった。「カルノーの原理(または定理)」と呼ばれるものです。

W くん: えーっと、「近代化学の革命」とされる『化学原論』(1789)の著者(15){(a)フランクリン, (b)ファラデー, (c)ラバアジェ, (d)マイヤー}は「単体表(元素表)」に酸素・水素・窒素と並べて「光」や「熱素」を掲げていたように熱素説が勢いを持っていたんだ。それにたいして、「エネルギー保存則」を打ち立てたジュールは熱をエネルギーと考えるから、カルノー・サイクルでは「仕事」をしているのに(16){(a)摩擦という熱素の「もう一つの仕事」, (b)潜熱というあり方, (c)熱素の減少, (d)熱素のあらたな発生}を認めないから、カルノー原理は受け入れられなかったんだ。エネルギー保存則と熱素説を両立させることが出来ない。

Y さん: はい。これを突破したのは(17){(a)英国王立協会のメンバー, (b)フランス・アカデミー会員, (c)オランダの医師, (d)ドイツ(プロイセン)の学者}のクラウジウスです。クラウジウスは「エネルギー保存則」を「熱力学第1法則」として、そのほかに【A】「熱力学第2法則」を立て、カルノーの「理想機関(超能機関)はありえない」という証明方法に工夫をこらすことによって、「第2種の永久機関はありえない」という形で問題を解決したのです。

Z さん: ク라우ジウスにタッチの差で先んじられたウィリアム・トムソン(のちのケルヴィン卿)は、同じく「熱力学第2法則」を立て、熱力学的絶対温度を定義した。今日「K」であらわしているケルビン温度だ。

Y さん: ク라우ジウスは1860年代に、「エントロピー」を定義し、「孤立系の全エントロピーは(18){(a)可逆変化で必ず増加する, (b)可逆変化で必ず減少する, (c)非可逆変化で必ず増大する, (d)非可逆変化で必ず減少する}」という「エントロピー法則」を確立します。

X くん: うーん。熱機関というか火力機関の時代というの分かるし、熱現象の(特殊性)についても理解したつもりなんだけど、「エネルギー」の他に、「エントロピー」という別の(19){(a)運動体, (b)熱物質, (c)状態量, (d)座標軸}を定義し導入することに、どんなメリットがあるの?

Y さん: うん。エントロピーは難しいってよく言われるんだけど、槌田敦先生はエントロピーを噛み砕いて「資源物理学」という新しいものの見方をつくられました。(エネルギーは可逆的で、エネルギーからポテンシャルエネルギーに戻ることが出来るのに反し、エントロピーは非可逆であって、エントロピーからポテンシャルエントロピーに戻ることはいない)つまり、私たちの世界は、物拡散と熱拡散という絶対的な流れにあるという理解を基礎とするのです。火力発電は石炭や石油を燃やして動力を取り出し電力にする技術と考えられているけど、そこで発生する熱からエントロピーを除去しないと動力は使えないのです。ニューコメン機関に対しワットは(20){(a)火薬を蒸気に置き換え, (b)揚水に梃子を利用し, (c)シリンダとボイラを分離し, (d)凝縮器とシリンダを分離し}、効率を上昇させたように、火力機関に冷却は不可欠です。つまり、原料資源や動力資源があってもそれに対応する(21){(a)高エネルギー, (b)高エントロピー, (c)低エネルギー, (d)低エントロピー}資源がなければ、生産も仕事もありえないのです。エネルギーとエントロピーの両方を見ることによって、それぞれの文明が抱える資源環境問題が明らかになると思います。

W くん: うーん。ということは、石炭から石油へのエネルギー資源転換は、石油が石炭より(22){(a)高エネルギー・高エントロピー, (b)高エネルギー・低エントロピー, (c)低エネルギー・高エントロピー, (d)低エネルギー・低エントロピー}だったという資源選択の優位と、自動車や航空機のエンジンという熱化学機関が空冷技術をともなった(23){(a)内燃, (b)外燃, (c)真空, (d)凝縮}機関として環境負荷というマイナス側面をもたらしたことを、一緒に学問的に明らかにしているんだ。「熱学」そして「資源物理学」ってスゴイ!!

Z さん: W 君って、飲み込み早いね。見直しちゃうな。しかし、残念なことに、エントロピー概念の成立とほぼ時を同じくして、19世紀末不況が起こる。重工業化による鉄道や冷凍冷蔵技術は、「交通・流通革命」を惹

き起こし、(24)(a)中心部から周辺部への物流が増し中心部が資金不足となった、(b)中心部から周辺部への投資が周辺部での製品過剰と資金過剰をもたらした、(c)周辺部が中心部から自立し中心部にモノ不足と資金不足をもたらした、(d)周辺部から中心部へモノとカネが集中する傾向となった。この19世紀末不況から、先進資本主義国間の「帝国主義」対立が起き、第一次世界大戦への背景となっていくんだ。

Xくん:おっと、ここは経済学大好きの僕の出番だ。第一次世界大戦をはさんで大西洋を隔て戦場になることはなかった米国経済が世界に波乱をもたらすことになったんだ。世界の余裕資金が、短期の証券投資つまり(25) {(a)短期に資金を調達して長期運用する、(b)短期に資金を高利で貸し付けリスクを取る、(c)期限まで一年未満の債券に乗り換えリスクを避ける、(d)一年未満での証券売買で差益を狙う}やり方で、ニューヨークの株式市場や債券市場に資金が集中した。ところが戦後復興と自動車需要の減退から1929年NY株式市場の株価暴落が起きる。それまでの米国国際収支は(26) {(a)経常収支黒字と金融収支黒字、(b)経常収支黒字と金融収支赤字、(c)経常収支赤字と金融収支黒字、(d)経常収支赤字と金融収支赤字}で、米国は世界の資金循環の要になっている自覚がないまま有効な金融政策が展開できず、株価暴落から世界恐慌へと危機を拡大していった。

J. M. ケインズは1936年に著作『(27) {(a)財政、(b)需要、(c)供給、(d)雇用)、利子および貨幣の一般理論』を刊行し、(28) {(a)自由放任の終焉、(b)管理通貨の終焉、(c)金本位制の世界通貨、(d)政策介入による計画経済)を主張し、(29) {(a)需要が供給を導く、(b)「神の見えざる手」が需給均衡を導く、(c)計画経済が需給均衡を導く、(d)供給が需要を導く}という立場の理論を展開した。

Wくん:若い頃に『確率論』を著したケインズは『一般理論』で、金融政策を主張した。【B】ケインズによれば、金融政策は『美人投票』の論理』にもとづいて大衆の市場心理に影響を与えようとして行なわれるのだ。

Xくん:第二次世界大戦後の西側各国はケインズ政策を採用した。とりわけ、日本は「護送船団方式」と呼ばれ、(30) {(a)株式資本と直接金融、(b)流信用と公的資金、(c)銀行融資と内部留保、(d)厚生基金と資本信用)による資金を設備投資にふりむけ、高度成長したんだ。

Zさん:【C】アベノミクスは、この高度成長期をヒントにして、為替政策や貿易につながる産業の成長戦略を描いていると思う。だけど、〈ブレトンウッズ体制〉すなわち「第一次米国覇権」状況とは異なる現在において、年率10%なんて高成長はゼッタイ無理。新しい政策工夫が必要となる。それはアベノミクス第2ステージとしてか、異なる政策への転換としてか、判断が分かれるところでしょう。

Xくん:わーっ、Zさんてチョー優等生！ 選挙の論点解説コメントターミナルみたい。

Wくん:時事? どおすつか離脱EUだ なお、負け先生キャメロン煽動って辞めてとまらない。解ける? 欧州。

ちやう匹成きやつP:どお。すっかり脱い湯だな おまけ@生キャ・メロン味って やめて止まらない 溶ける。Oh秀。

Mapi: はあーい。ちやうP団にカワウン君? EU維持メルケル? いじめる? 蹴る? とかいって チャオ!

(安心して下さい。ついてます@)

【ちやっぴい問題の正解】もちろん! ③!!です。①初登場 カワウン君! ②カワセミ君の食事は? ③納涼きやつP!!【つづく】

【問A】「第2種の永久機関はありえない」とはどのような意味か、クラウジウスの「熱力学第2法則」の表現とあわせて記しなさい。その際に、クラウジウスは、カルノー機関にどのような独自の工夫をこらして、この主張を行なったのか、説明しなさい。

【問B】『美人投票』の論理』にもとづく金融政策とは、どのようなものか。日本銀行の黒田総裁の「クロダミクス」を例にあげて、具体的に説明しなさい。

【問C】〈ブレトンウッズ体制〉下における、どのような歴史条件が高度成長に結びついたか、当時の為替制度と貿易・産業政策を明示して説明せよ。更にそれをふまえ今日における政策選択の可能性を論じなさい。



問題は、以上です。

ちやうP
Mapi

2016年度【理系】政治経済 予定表③-20世紀科学文明-担当:増田(まび)

終焉を如何に迎えるかの判断は敬遠される。永遠の成長と進歩発展を声高に唱え、その中で環境との両立リクエストに応えることは果たして可能だろうか。原発の放射性廃物を10万年も貯蔵するなどとは、たちまち明らかになる不遜かつ無責任な物言いである。10万年前はネアンデルタール人だったのだ。思考停止で済ませてはいけない。私たちに10万年も未来を拘束し負債を背負わせる権利などあるはずがない。いまからでも方向転換は可能だ、いや転換しなければならない人類義務がある。2011年3.11という壮大な誤りけじめをつけなければならない現実が目の前にある。そこから眼を背けて、ここに到った政策選択の実検ぬきに明日を語ることがあってはならないはずだ。ところがどうだろう、学者の批判や忠告さらには考証けむたがり、上手いかぬのは道半ばだからアクセルを更に踏むと言う。学問や教育研究が社会に貢献するには体制におもねらない姿勢が必要だ。残された時間の中で先人の学問的思索の大道に学ぶことにする。

〔二学期前半〕20世紀文明という特殊歴史的発展のあり方を辿り、アインシュタインの思想と突き合わせてみる。

1	経済学と資源学	1 学期〈自由主義市場のケインズの修正〉と〈力学的世界観と熱学的世界観〉 二つの物質状態量 E と S 、資源と環境、「黄金の1960年代」を支える安価石油
2	ミクロとマクロ	エントロピーを分子の視点で表現し、熱学のエントロピーとつきあわせる ニュートン決定論運動法則と確率、ブラウン運動、ボルツマン $\langle S = k \log W \rangle$
3	エネルギー概念	自然界の根源的要素としてのエネルギーはどう見出され理解されてきたか カオス、時間の矢、「宇宙の死」、マクスウェルの悪魔、量子論と相対性論
4	原子力の政治学	アインシュタインは原爆開発の米国大統領宛書簡に署名したことを悔んだ 放射能の発見、アインシュタイン $\langle E = mc^2 \rangle$ 、原子爆弾と「原子力の平和利用」
5	1970年代の構図	1970年代スタグフレーションを背景に「反ケインズ」の主張が唱えられる 変動相場制移行の衝撃、米国「双子の赤字」と政策転換、「供給重視の経済学」
6	新自由主義思潮	「強い米国」掲げた米大統領のレーガノミクスは新たな覇権への基礎を作る 投資減税、SDI構想とICT基礎、インフレ抑制とドル高、双子の赤字の行方
7	金融の規制緩和	金融自由化による新金融商品と為替変動対応のリスク・ヘッジ商品の登場 純粋金融持株会社、セキュリタイゼーション、LBO、バブル「3つのL」
8	グローバリズム	レーガンによる金融自由化は米国と日本そして世界にもたらした変化とは 米国金融再編、中曽根政権の外為規制緩和、実需原則と円転換規制を撤廃
9	米国の対日戦略	米国は日本に「同盟の関係」を迫り、他方で日本の経済力を政治でたたく 銀行のBIS規制、クリントン政権は円高政策継承、ICT革命がMEを乗っ取る
10	第二次米国覇権	1989年東欧社会主義崩壊とマルタ会談で冷戦は幕を閉じグローバル時代へ 冷戦とは何だったか、旧社会主義の資本主義化、湾岸戦争と米国単独覇権

安易な政策判断は過去の焼き直しであることが多い。既成事実の積み上げと勇ましい標語フレーズを大小倍加するだけで、世界の構造変化に注目することがない。基地に苦しむ所に新施設を倍加するのは貯水池マンパイにして決壊を導く所業にもみえる。もはや今日文明は転換期に入っているのである。後でヤッパリあの時点で政策転換を為すべきだったでは遅いのだ。社会構造は複雑重層的であるからスイッチをオンオフして切り替えれるものではない。永い試行錯誤の移行期を覚悟すべきであろうが、決断の秋は「今ダ」

〔二学期後半〕「9.15」「3.11」の文明史的位置を見定め、近代的「成長」終焉後をエントロピー視点から探る。

②次の会話の、(1)～(30)は最適選択肢記号、(ア)～(コ)は適切な語句、下線部設問【A】【B】【C】に、答えよ。

Mapi : はあーい。安心して下さい。ついてます！『mapi & ちゃうPi 政経教室』【理系篇】第3幕です。

きゃっpi : チャオ♡ ちゃうPi & きゃっPi 戦隊♡MAPi レンジャー♡♡ オータム・フォーメーション!! きゃび〜ん！

Wくん: うわっ！増員してる！きゃっPi 戦隊♡MAPi レンジャー?? 敵は誰だっ？

Zさん: 小池百合子さんは (1) {(a) 自民党東京都連公認候補として, (b) 自民党と民進党の東京都連公認候補として, (c) 自民党東京都連公認を辞退して, (d) 自民党東京都連と対決して}, 新しい東京都知事に選ばれ「小池劇場」として脚光を浴びている。でも、「敵」って誰? 「敵」の正体は不明なままだ。都議会は、築地市場の豊洲への移転問題を専門に審議する特別委員会設置を(2) {(a) 全会一致で可決, (b) 与党の賛成多数で可決, (c) 与党と民進党の賛成多数で可決, (d) 否決} し、閉会した。今後注目だね。

Yさん: 米国では大統領選挙を目前にドナルド・トランプ(3) {(a) 保守党, (b) 民主党, (c) 共和党, (d) 自由党} 候補とヒラリー・クリントン(4) {(a) 保守党, (b) 民主党, (c) 共和党, (d) 労働党} 候補が TV 論戦で火花を散らしています。TPPに関しては、現時点で(5) {(a) 両候補とも賛成, (b) トランプは賛成でクリントンは反対, (c) クリントンは賛成でトランプは反対, (d) 両候補とも反対} を表明しています。安倍政権は、TPPの(6) {(a) 早期合意, (b) 今国会での批准, (c) 今国会では審議見送り, (d) 締結反対} の立場だから、先行き不透明です。

Xくん: TPPはロナルド・レーガンに始まる「新自由主義」ムーブメントの、日本にとっての最終局面と言えるかもしれない。ここは、きちんと問題点を定めておかなければならないところだ。

Wくん: おっと、出ましたね。経済分野が得意なX君の切り込み！ここはX君に、新自由主義の時代を総括してもらいたいな。

Zさん: そうね。「パナマ文書」に続いて、タックス・ヘイブンのオフショア市場取引の一部をすっば抜いた(7) 「{(a) カストロ, (b) キューバ, (c) パナマ, (d) カリブ} 文書」が公開され、新自由主義市場の裏面が明らかになれつつある今、「新自由主義改革とは何だったのか」が問われてもいいね。X君、お願いします。

Xくん: おっしや。新自由主義は、米国レーガノミクスが巻き起こした(8) 「{(a) 市場至上主義と「大きな政府」、(b) 市場至上主義と「小さな政府」、(c) 市場介入と「安上がりな政府」、(d) 市場介入と「強い政府」}」を主張する立場だ。理論的な主柱をなしている経済学思想は、(9) 「{(a) 需要, (b) 供給, (c) 需給均衡, (d) 等価交換} 重視の経済学」と(10) 「{(a) 貨幣価値の安定, (b) 金兌換制への復帰, (c) 通貨による景気政策, (d) 通貨による物価統制}」を掲げる「マネタリズム」だ。

Yさん: 1970年代、ニクソン・ショックが背景となって固定為替相場制から変動為替相場制へ移行がなされると、西側先進各国は“景気停滞下の全般的物価上昇状態”となり、それには「(ア)」という新しい造語が与えられました。米国では「双子の赤字」(すなわち「(イ) 収支赤字」と「(ウ) 収支赤字」)が常態となり、他方でソ連が1979年に(11) 「{(a) アフガニスタン, (b) イラク, (c) ウクライナ, (d) シリア}」へ侵攻し、新たな東西対立があらわれたのです。同年にはスリーマイル島原発事故もあり、レーガンは、「『強い米国』の再建」を掲げました。

Xくん: そう。その課題を新自由主義の経済政策＝レーガン・エコノミクスとして実行したんだ。レーガンは所得税の累進課税制度の(12) 「{(a) 低所得者, (b) 中所得者, (c) 高所得者, (d) 非居住者}」に対する税率を引き下げた。これは他の税制改革とあわせて(13) 「{(a) 生活必需財の消費, (b) 不動産や金融への投資, (c) 米国への移民による安価労働力, (d) 奢侈財の生産}」拡大を企図するものだった。同時にレーガンは、SDI構想で今日のICT[略さずに日本語表記すると(エ)]の基礎づくりを進めた。

レーガノミクスは(14) 「{(a) 「双子の赤字」とインフレーションをともに解消, (b) 「双子の赤字」を解消したがインフレーションは拡大, (c) 「双子の赤字」は拡大したがインフレーションは解消, (d) 「双子の赤字」とインフレーションをともに拡大}」する結果を招いた。他方、米ソ軍事競争はソ連財政の弱体化を導き、米ソ両首脳は1989年12月のマルタ会談で東西冷戦の終結を宣言するに到った。冷戦終結が「グローバリゼーション」状況を生んだと言われるけれども、それは結果に過ぎない。米国は、国際収支の均衡を(15) 「{(a) 経常収支黒字と金融収支黒字, (b) 経常収支黒字と金融収支赤字, (c) 経常収支赤字と金融収支黒字, (d) 経常収支赤字と金融収支赤字}」によって実現している、という事実が大切だ。日本の(16) 「{(a) 小泉純一郎, (b) 田中角栄, (c) 中曽根康弘, (d) 橋本竜太郎}」政権期に、外国為替の「実需原則」と「円転換規制」を撤廃したのは米国の要請に基づくものだ。

Zさん: レーガン第1期の政策は、日本との比較で言えば(17) 「{(a) ドル高円安で米国金利が日本より高い, (b) ドル高円安で米国金利が日本より低い, (c) ドル安円高で米国金利が日本より高い, (d) ドル安円高で米国金利が日本より低い}」

本より低い}状況を作ることだったんだ。グローバリゼーションを進め、この状況にみあう形に米国金融業の再編をすることが政策課題だったというわけね。

Xくん: そう。レーガンは金融持ち株会社を認め、これによって銀行と証券業の連携が可能となり、LDCむけに大口債権を設定し、それを小口債券にして投資家に売る「(オ[英語または英語のカタカナ表記])」手法が行なわれるようになり、新しい金融商品が次々に登場した。さらに、変動為替相場制による為替変動をヘッジする為替先物取引など【A】「デリバティブ[金融派生商品/取引]」の発展が、レーガン減税とあわさり金融ブームを作りあげる。金融取引は投機的なものとなり、金融筋が相場を操るまでになったんだ。

Wくん: 「ウォール街覇権」ってやつだな。でも、結局のところ、「人から資金を借りて金儲けする」あり方は「儲け」が大きくても、借金返済負担はシンドイんじゃない？

Xくん: だから、レーガン第2期には政策転換が行なわれた。(18){(a)日米2国, (b)G5, (c)G9, (d)G20}の「プラザ合意」による(19){(a)外為ドル買い協調介入, (b)外為ドル売り協調介入, (c)外為ドル買い協調規制, (d)外為ドル売り協調規制}だ。この流れで日本人や日本企業が米国で保有する金融資産の円換算評価の減価をおそれドル資産を手放し、1987年のNY株式市場の「暗黒の月曜日」を招くこととなった。

Yさん: 「暗黒の月曜日」で米国バブルが破裂して、日本へとバブルの場所移動が起きたと、X君は理解するわけね。わたしは mapi 授業から、そこに米国政府の対日戦略を感じます。「プラザ合意」から10年間で円の対ドル価値は、約(20){(a)1/3, (b)1/2, (c)2, (d)3}倍にもなりますが、この為替レート傾向は「ドル建て」決済の日本産業にとって(21){(a)輸出も輸入も有利, (b)輸出は有利だが輸入は不利, (c)輸出は不利だが輸入は有利, (d)輸出も輸入も不利}になります。日本のPC市場は米国PCに奪われてしまった。

Wくん: へえ、Yさんて頭いいなあ…。ただのリケジョじゃない。「新自由主義」の看板を文字通りに受け取り実行し、「合意」を押し付けられてハイハイって守る外交なんて未熟を通り越して「バカ」まらだしいね。

Zさん: うわーっ、W君ってチョー過激。でも、W君の主張は一理あるな。日本の外務省が「日米構造協議」と訳している文書は、日本にある米国大使館HPの「仮訳」では「日米構造(カ)イニシアティブ」とされているように、米国にとっての「impediments」を取り除くことが「日本の構造改革」だったのかもしれないね。

Yさん: 「日米構造協議」で日本政府が、米国に対して10年間で630兆円の(22){(a)米国債購入, (b)対米輸出規制, (c)米国製戦闘機購入, (d)日本の公共事業投資}を約束するというのは、とても「新自由主義」思想に沿うものとは言えないと思います。

Xくん: それに加えて——結果論かもしれないんだけど——、国際取引をする銀行に対する《BIS規制》は日本の銀行を標的にしたものだったかもしれない。「バーゼル合意」とも呼ばれているが、銀行の自己資本比率に関する国際的な民間銀行間の協定だ。《BIS規制I》は、国際取引をする銀行が保有できる債権総額は銀行の自己資本の(23){(a)4.5, (b)6, (c)8, (d)12.5}倍以内とするもの。銀行が保有する株式証券の含み益を自己資本扱いしてもらえることになったので、日本の銀行は合意した。しかし、《BIS規制I》を実施する時期には、日本バブルがはじけてしまった。【B】日本の民間銀行が《BIS規制I》をクリアするためにとった行動が、日本「護送船団」方式の解体を進める結果を招いた。

Wくん: なるほど。「新自由主義」だとか「構造改革」だとか叫ばれるけど、それで誰が得をしているかを見定めることが大切だってことだ。mapi は「第二次米国覇権」って呼んでいたけど、《米国覇権》であると同時に、いやそれ以上に《ウォール街覇権》ってことなんだ。「1%が99%を支配する」と言われるが、それは米国内だけでなく、グローバル＝世界的に進行している事態ということだろう。

Yさん: mapi は「第二次米国覇権」とか「ウォール街覇権」って言うけど、私は「核覇権」の仕組みをみれば、金融覇権も核覇権も同じ構造に思えます。1970年発効(1968採択)したNPT(日本は1976批准)は、核兵器保有国と認められている(24){(a)3, (b)5, (c)7, (d)8}カ国以外に新たな核保有国の出現を阻止するものとされています。しかし、核保有国の核軍縮がなされない現状では、これは核保有国の核兵器特権を固定化するものでしかない。国連安保理の常任理事国が拒否権特権を持つと同じ構図です。前回、話題になりましたが、アイゼンハワー大統領は1953年12月8日に国連で「Atoms for Peace」演説を行ないました。その意味は、(25){(a)平和のための核兵器, (b)核抑止力による平和, (c)核のない平和, (d)原子力の平和利用}です。この演説を背景に、1955年(26){(a)日米安保条約の締結, (b)日米安保条約の改定, (c)日米行政協定の締結, (d)日米原子力協定の締結}がなされます。そして、これに基づき日本は(27){(a)自衛隊を増強する義務を負う, (b)米国から核技術と核燃料の提供を受ける, (c)独自に核物理学を進める, (d)日本の米軍基地への核兵器配備を認める}ことになります。国際的な「平和」も「核＝原子力管理」も覇権構造になっているのです。《核覇権》が「核物理学の核技

術と核燃料の支配」構造であるように、《金融覇権》はノーベル賞級の金融理論を金融技術として「ウォール街」に結晶させたものなのではないでしょうか。

Wくん:うへん。なるほど。そういえば、アインシュタインは自ら署名した米国大統領への核開発を進言する手紙が「マンハッタン計画」そしてヒロシマ・ナガサキの惨劇に連なったことを晩年に到って後悔していた。「科学」は単なる学問ではない。とりわけそれは、「核物理学」や「遺伝子科学」に言えることだろう。

Yさん:少し科学史をふりかえってみます。1860年頃に「ジェームズ・クラーク・(キ)」[人名]は「光は電磁波である」ことを発見しました。マックス・プランクは「暖められた物質が放射エネルギーを発する時、そのエネルギーは(28){(a)連続、(b)発散、(c)離散、(d)不可逆}的な値になる」と考え量子論へ道を開きます。この20世紀の新展開によって、古典力学は(29){(a)強い重力が働くマクロ、(b)強い重力が働くミクロ、(c)強い重力が働かないマクロ、(d)強い重力が働かないミクロ}な物体運動を記述する理論としてはいぜん有効であり、(30){(a)熱力学第1、第2法則に変更の必要はない、(b)熱力学第1法則に変更はないが第2法則は変更が必要である、(c)熱力学第1法則には変更が必要だが第2法則に変更はない、(d)熱力学第1、第2法則ともに変更が必要である}ことが確認されています。放射能については、1895年に「ウィルヘルム・(ク)」[人名]によるX線の発見、ベクレルとキュリー夫妻による放射線の発見、ローレンツによる電子論とJ. J. トムソンによる電子の発見が20世紀の原子核物理学の出発点を作ります。1919年にアーネスト・ラザフォードは、最初の核反応実験を成功させ、原子核の構成要素として(ケ)を発見します。さらに、ジェームズ・チャドウィックは(コ)を発見します。こうして、原子核は正電荷をもった(ケ)と電氣的に中性で(ケ)とほぼ同質量の(コ)から構成されていることが明らかとなります。原子核に(コ)をぶつけて原子核分裂をひきおこすと、莫大なエネルギーが解放されます。これが、原子爆弾や原子力発電の原理です。この仕組みが明らかになったのが第二次世界大戦期だったことが人類にとって不幸だったと言えるでしょう。

Zさん:ヒロシマ、ナガサキ、フクシマを体験した私たちは、アインシュタインの後悔を誠実に受け止めなければならぬ。原発を抱える地方の県知事選挙でことごとく「反対派」や「慎重派」が勝利している現実を見る必要がある。もっとも、米国大統領選でトランプ候補が「内向き」の発言をしてウケている現実もあるけど。

わたしは、【C】山本義隆先生が「わたしが講義で伝えたかったこと」として「使用済み核燃料の問題」を重視していることを、「熱力学第二法則」から捉えかえす学習につなげたいと、考えています。

Xくん:わーっ、Zさんこそ ちょへりケジョ! 「(将来の)核保有」「(審査済み)原発再稼働」なんて言ってる政治家に聞かせたいよ!

Wくん:時事でる? ドナルドかい ヒラリーかい 常識って? 大統領! プーチンさん上機嫌?

ちやう月まきやっ月:どお。怒鳴る度 回避 ラリー会場しきって? 大投了! プーチン参上、期限?

Mapi: はあーい。きやっ Pi 戦隊♡MAPI レンジャー! アベ黒大頭領 北方漁と海産 とかいって チャオ!

(安心して下さい。ついてます◎)

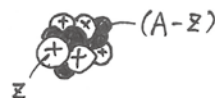
【ちやっぴい問題の正解】もちろん! ③!!です。①アブナイ! ②「もうすぐ」って? ③きやっ Pi 戦隊♡MAPI レンジャー!! [つづく]

【問A】以下の設定で、貴方が「為替先物オプション契約」を行なうとした場合、権利を買う側か、権利を売る側か、いずれに立つか。権利行使日の直物為替レートの数値を具体的に設定し、予想される損得(現時点でのドルブット・円コールとの差額)を計算し、答えなさい。なお、契約をしない選択はないとする。また、為替の交換手数料はゼロとする。

“貴方は本日(10/20)より2カ月後に\$100万を受け取る契約があり、その日に円にしたいと考えている。また、FRBが年内利上げの方針で、他の条件は変わらない。現在の直物為替相場が(<\$1=¥104)。金融商品=「権利料は\$1につき¥2。12/20が権利行使日で、(<\$1=¥105)レートでの\$100万ドルブット・円コール。”

【問B】《BIS規制I》の内容と「護送船団」方式の特徴を明らかにし、《BIS規制I》実施のためにとった日本の民間銀行のどのような行動が、「護送船団」方式の解体を進めた”か、説明しなさい。

【問C】山本義隆先生が重視した「使用済み核燃料の問題」を、「熱力学第二法則」視点から論じなさい。



問題は、以上です。

ちやっぴい Mapi

2016年度【理系】政治経済 予定表④-生命系地球の姿-担当:増田(まび)

安全と平和の中で幸福追求することを保障するのが国家の役割だったはずだ。しかし約束された夢の完成倍増の未来は裏切られ希望の箱は空虚と絶望で充たされてしまった。約束のない選択肢が強行され、家長政治のように異を唱える者は家から排除される。どこで誰が決定したか不明のまま事態は継承され、天神治国への絶対服従までも求められる始末である。主権者国民は選挙の時以外は関与しない政治を正しい話のように語り、自然災害を人災と見ることもない。自然と歴史が積み重ねた知恵に謙虚に耳傾けることを負から学ぶことはないとして拒絶する姿勢に、未来はないはずである。強欲な金融資本は国民国家を超越、遺産相続人のように振舞っている。グローバルを表看板に国民国家の蓄積を私物化し、今日の困難を越え産まれる将来をも債権者として食い尽そうとしている。この強欲な者たちに正義の鉄槌を下すべきである。

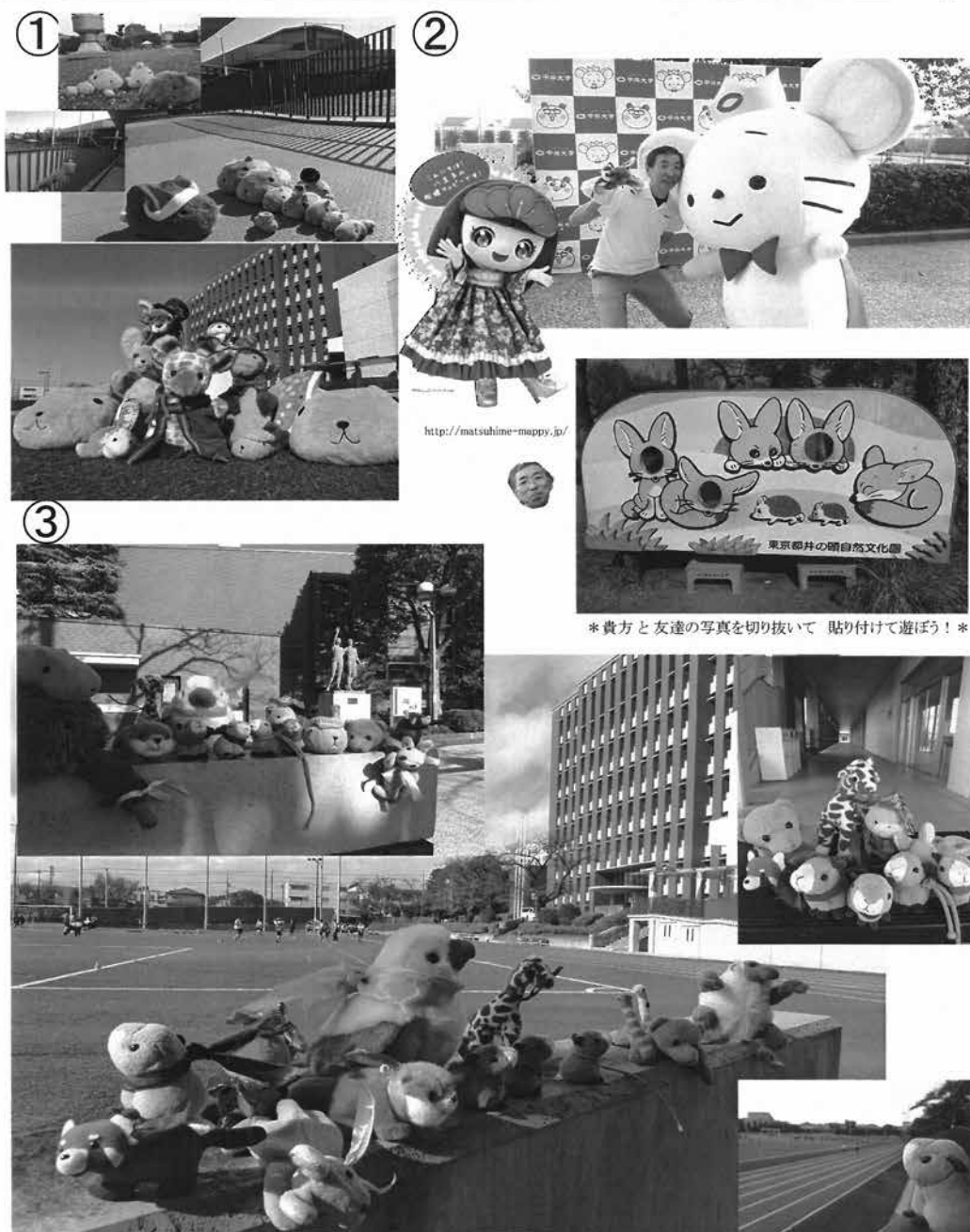
[二学期後半]近代文明の成熟から転換に際し、エントロピー観点からアインシュタイン思想を学び継承する。

1	失なわれた20年	円高不況とバブル破裂による金融不況の複合不況は護送船団日本の崩壊へ 銀行の不良債権, 95年基準金利1%へ, 外人投資家の円キャリートレード
2	金融資本の猛威	1990's前半「東アジアの奇跡」は投機筋の仕掛けで1997東アジア通貨危機に ドルペッグ制, 為替先物オプションで仕掛け, IMF融資条件と外貨準備
3	9.11テロと愛国	9.11事件に至る反米感情を惹き起こしたのは金融資本のモラルハザードか クローニーとワシントン・ウォール街・IMFコンセンサス, 米国愛国者法
4	モラルハザード	M&Aを通じて機関投資家は経営者に短期間での株主利益最大化を求める 株主主権と経営者資本主義, ストックオプションとバブル, エンロン倒産
5	ゼロ金利時代へ	日本が始め米国が危機対応で追随したゼロ金利はグローバル金融を変える 円キャリー, レバレッジ手法の常態化, サブプライム住宅ローンの証券化
6	米国発金融恐慌	サブプライム危機が金融機関危機そして世界へ危機連鎖していった背景は CDS, リーマンブラザーズ倒産, 公的資金の投入, 信用とギリシャ危機
7	新しい国際主義	新自由主義グローバリズムとケインズ型国際主義を改めて比較してみよう 英国EU離脱, 米国大統領選の総括, TPPの行方, 安保法制と憲法改正
8	3.11と文明転換	9.11・9.15・3.11の意味から超長期・長期・中長期・短期的な政策課題を考える 「利子率革命」論, 金融量的緩和政策の出口, 資本主義市場経済と民主主義
9	質量転化率とは	成長経済学とエネルギー浪費型文明からエントロピー観点の定常社会論へ エネルギー効率とエントロピー収支, 廃熱と廃物, $E=mc^2$ 視点から $m=E/c^2$ へ
10	再生産表と地球	成長主義時代の負遺産を引き継がなければならない私たちの為すべき選択 ケネーの経済表, 光合成の再評価, エントロピー再論, 開放定常生命系地球
11	これからの世界	「国際金融のトリレンマ」と「世界経済の政治トリレンマ」を手掛かりに考える 日本「構造改革」の失敗, 自国中心主義, ブレトンウッズの妥協, 3.11以後

知識は苦難の経験と学習の積み重ねから身につくものだ。過去と生活の歴史に学ばない者が明日への安定性を確保することは困難である。学識者や世論の反対を押し切ってまで進められる政治と経済政策に日常の平穏安定を期待することはできない。「1%が99%を支配する」社会と言われるが、独裁経営者の会社崩壊と同じく、不安定で巨大格差の状況が永続可能とは思われない。民主主義が問われているのは、社会壊滅を目にした人々の最後の叫びであるだろう。残された時間はあまり多くはない。今こそ転換の道へ。

[三学期特別]古典から文明転換を構想遂行する知恵を学びブートキャンプで身体を造る→まっぴい最終講義へ。

【特別問題 Last】 きゃっPi戦隊は、①～③のうち どれかな？



⌚ 時間配分に気をつけ、あわてずじっくり考えれば正解にいたるかも⌚ 苦しいときの ちゃうPiだのみ って?!

👉 【問題は、次ページからです】 👈

曾次の会話の、(1)～(30)は最適選択肢記号を、(ア)～(ソ)は適切な語句・数字を答え、【A】～【C】の設問に答えよ。

Mapi : はあーい。安心して下さい。ついてます! 『mapi & ちゃうPi 政経教室』Last-Stage 最終幕です。

きゃりー: チャオ♡ ちゃうPi & きゃつPi 戦隊♡♡MAPIレンジャー♡♡ ラスト・フォーメーション!! きゃびーん!

Wくん: ラスト・フォーメーション!? あっ、そうか…きゃつPi 戦隊♡♡MAPIレンジャー最終回かあ!

Zさん: 4月からの『mapi 政経』も今回でおしまいね。時代の流れが大きく変わってきている今、mapi 教室でいろいろと議論できて楽しかったな。

Xくん: おいおい、冒頭から閉めの挨拶はないだろ。最後らしく、“来るべき「新しい時代」を描いてみる”という企画はどうだろう。6月の英国国民投票でEU離脱が決定し、キャメロン首相に代わり(1){(a)保守党, (b)民主党, (c)共和党, (d)労働党}のメイ首相政権が発足した。米合衆国の大統領選挙では(2){(a)自由党, (b)保守党, (c)共和党, (d)民主党}のトランプ候補が時期大統領に選出された。トランプ氏は現時点で、(3){(a)TPPとパリ協定への参加, (b)TPP参加とパリ協定離脱, (c)TPP離脱とパリ協定参加, (d)TPPとパリ協定から離脱}を表明している。日本政府は(4){(a)TPPとパリ協定ともに推進, (b)TPP推進・パリ協定反対, (c)TPP反対・パリ協定推進, (d)TPPとパリ協定ともに反対}の姿勢だが、この先どうなるんだろう。

Yさん: TPPには投資家と国家との紛争裁定を規定した「(ア(アルファベット表記))条項」があり、投資家が投資先で規制により損害を受けたとして相手国に対し賠償請求するケースが心配されています。それにしても、「のり弁」と揶揄された真っ黒に塗りつぶされた資料で審議など不可能と思われるのに、委員会では採決が強行されました。自由民主党は、これまでの選挙公約で(5){(a)TPP交渉で聖域は守る, (b)TPP交渉で聖域を拡大する, (c)TPPによって聖域をなくす, (d)TPP聖域から中国を排除する}としていました。

Zさん: 安全保障に関しても大きな変化が起きている。現在(6){(a)イラク, (b)シリア, (c)アフガニスタン, (d)南スーダン}で「国連平和維持活動」(イ(アルファベット表記))と略記される」に参加している陸上自衛隊に新任務として、昨年強行採決され今年施行となった安全保障関連法に基づく(7){(a)駆け付け警護, (b)後方支援活動, (c)緊急事態対応, (d)平和重要事態対応}業務が今月には追加実施される。国連事務総長は(8)の現地情勢を(8){(a)平穏である, (b)比較的安定している, (c)衝突が起きている, (d)カオスに陥りつつある}と分析している。

Yさん: 1990年イラクが(9){(a)イラン, (b)クウェート, (c)クルド, (d)トルコ}へ侵略したのに対し、翌年(10){(a)国連決議に基づき国連軍による, (b)国連決議に基づき多国籍軍が組織され, (c)国連決議なしに米国と同盟国の軍隊による, (d)国連決議なしにNATO軍を主力として}湾岸戦争が巻き起こされました。この戦争に関わり日本は、130億ドルを拠出する一方、(11){(a)海上自衛隊をペルシャ湾に派遣した, (b)航空自衛隊による給油活動を行なった, (c)陸上自衛隊を派遣し後方支援にあたらせた, (d)自衛隊は派遣しなかった}。2006年にサダム・フセインが処刑され、イラクは混迷を深めました。新たなシーア派イラク政権に反対する旧政権のイスラム(ウ)派の一部はISISに合流したのです。

Zさん: 2010年暮れにチュニジア青年の焼身自殺を契機に起きた「アラブの春」と呼ばれる民衆革命が中東各地に広がった。2011年の「シリアの春」は挫折し、アサド政権が存続しつつシリアは内戦状態となり、そこにISISが勢力を伸ばし、さらに混迷が深まっている。ISISに対峙する点では「共通」でも、それぞれの思惑が異なっているんだ。アサド政権の存続を図ろうとする(12){(a)米国とロシア, (b)米国とフランス, (c)イランとロシア, (d)フランスとイラン}は、「誤爆」も含め反アサド派への攻撃をISIS攻撃と併行して行っている。これらがあいまって、シリア人口の半数が既に難民と化し、400万以上の難民が国外に逃れている。これが、金融経済危機に加わりヨーロッパ連合「英国を含めて現在(13){(a)19, (b)23, (c)28, (d)35}カ国より構成されている」の複合危機を複雑にして解決困難なものにしているんだ。

Xくん: そこで思うんだけど、現在の複合危機を生み出した根源は、米国流「新自由主義」のグローバリズムなのじゃないだろうか。(14){(a)1971, (b)1977, (c)1981, (d)1985}年に米国大統領に就任したロナルド・レーガンは、「レーガノミクス」と呼ばれた新自由主義政策を行なった。これに応じた日本の(15){(a)田中角栄, (b)小泉純一郎, (c)橋本龍太郎, (d)中曽根康弘}政権は、外国為替の「実需原則」「円転換規制」を(16){(a)新たに設定, (b)一段と強化, (c)それぞれ撤廃, (d)据え置き}の措置をした。その結果、日本の国際収支(17){(a)経常収支黒字と金融収支黒字, (b)経常収支黒字と金融収支赤字, (c)経常収支赤字と金融収支黒字, (d)経常収支赤字と金融収支赤字}と、米国の(18){(a)経常収支黒字と金融収支黒字, (b)経常収支黒字と金融収支赤字, (c)経常収支赤字と金融収支黒字, (d)経常収支赤字と金融収支赤字}がセットになる資金連関の「日米同盟」ができた。もともと、主導権は、日米

構造障壁イニシアティブに明らかのように、米国にあるわけだけでも。

Yさん: 東アジアの場合は、もっと悲惨でした。外国為替市場での自国通貨価値をドルに(19) {(a)ペッグ, (b)スワップ, (c)フロート, (d)スキップ}させていた東アジアの国は、1990年代前半は(20) {(a)ドル売り・自国通貨売り, (b)ドル売り・自国通貨買い, (c)ドル買い・自国通貨売り, (d)ドル買い・自国通貨買い}介入を行ない、高度成長を実現できました。しかし、1995年9月に日本の基準金利が「0.5%」になると、低金利の円で資金を調達し世界で投資をする「(エ)・トレード」が進み、外国為替相場が「\$1=¥21」{(a)80, (b)90, (c)100, (d)110}をピークに、(22) {(a)円高ドル高, (b)円高ドル安, (c)円安ドル高, (d)円安ドル安}にふれたのです。この状況下で、1997年、ヘッジ・ファンドは対ドルでの直物相場より現地通貨安レートでの為替先物オプション「(23) {(a)ドルブット・現地通貨コール, (b)円ブット・現地通貨コール, (c)現地通貨ブット・ドルコール, (d)現地通貨ブット・人民元コール}」の権利を(24) {(a)現地金融業などに売った, (b)現地金融業などから買った, (c)現地政府に売った, (d)現地政府から買った}。これが東アジア通貨危機を招き景気後退を招きます。現地政府が要請した【A】IMFの融資にはIMFコンディショナリティが付けられ、その結果、「東アジアの奇跡」は一転して「売られるアジア、買い叩かれるアジア」になってしまふ。その中で「ワシントン・ウォール街・IMFコンセンサス」という批判の声が大きくなったんです。

Wくん: ファンドは、小さな国の経済を揺るがすほどに資金を豊富にもっていたんだ！

Xくん: いや、それは「レバレッジ」によるものだ。信託資金100に対してレバレッジ率20倍でのケースを考えてみよう。資金2000を金利0.5%で調達し、総資金2100にしてそれで2%の利益を上げ、レバレッジ調達資金決済をした最終利益を信託資金100の運用利益とみなせば(オ) %の利益率となる。ファンドが宣伝する利益率なんてレバレッジ部分を隠したインチキであることが多いんだ。仮に、この資金全額を権利料として40倍の取引を行ない失敗した場合、このファンドの負債はとてつもない金額になるだろう。リーマンブラザーズの負債が\$6000億を超えていたというのもレバレッジ経営だからだ。

Zさん: 機関投資家は経営者に短期的な株価上昇を求める。——例えば、1株1000円で50万株を買い過半数株主となった機関投資家は、新たな経営者を任命し「1株1100円で5万株」のストックオプションを与えたとする。経営者が株価を1株1500円にまで引き上げ、その時点で当該機関投資家は持ち株を全て売却し、経営者はストックオプションの権利を全て実行し、そのせいで株価が1株700円にまで急落したとする。この場合に、この機関投資家が得たキャピタルゲインは(カ)万円、経営者のストックオプションによる収益は(キ)万円である。——といった具合に、「企業の社会的責任[CSR]」を果たさない「株主主権主義」と「経営者資本主義」が進行することになってきた。

Yさん: 長期的展望に立った経営でなく、(25) {(a)金庫株を市場に放出する, (b)金庫株による自社株買い, (c)自社株買いで金庫株を増やす, (d)金庫株売却益で自社債発行}手法などで、短期的に株主利益の上昇をめざすあり方が広がってきました。それが経営者の「モラル・ハザード」を生み、2001年12月に全米売り上げ第7位を挙げっていた(26) {(a)リーマンブラザーズの不正会計発覚, (b)エンロンの倒産, (c)GMの一時的国有化, (d)ゴールドマン・サックスにFRB指導}という事態にまで到りました。

Wくん: ちょっと整理するね。国境を越えて資金が移動するようになると、より安く資金調達してより有利なところで運用する。まあ、それは当たり前で合法的な行為だ。1999年に欧州統一通貨ユーロが発足し、2001年ギリシャがユーロ参加する。米国は「9.11テロ」もあり金利を引き下げたから、米国よりユーロ圏の金利が高くなり、ドルで調達した資金をユーロで運用することが行なわれた。

Xくん: ところが、ユーロという通貨統一がなされても、ヨーロッパ合州国という政治統一は実現していない。ECBが統一的金融政策を行なっても、各国の財政政策は様々なんだ。それで、金利が高いギリシャ国債に人気が集まった。しかし、2009年のギリシャ政権交代で、国家債務がユーロ参加基準を偽っていたことが明るみに出て、ギリシャ国債の格付けが下がり、「ギリシャ危機」が発生した。それは、GIIPS債への不安に発展し、「流動性の危機」を招いたんだ。

Zさん: 米国の「リーマン危機」で、BRICS (27) {(a)への投資を拡大, (b)へと資金を逃避, (c)から投資資金を回収, (d)から先進国に投資}する動きが資金循環不全を招いていた時に、ギリシャ危機が重なり、「流動性の危機」は深刻なものとなった。そこで、【B】この「流動性の危機」に対して、「金融の量的緩和」政策が行なわれた。ところが、それが結果的に「質への逃避」を招き、景気後退を長引かせることになっているように、私には思われる。

Xくん: 水野和夫先生は「資本の帝国」と呼んでいるけど、金融勢力が国家政策をも左右して延命し、とんでもない搾取構造を作っているということじゃないのかな。「世界人口の1%の富裕層が保有する資産が、99%の人々の資産総額を超えた」というのは、異常というしかない事態だ(英国NGO「Oxfam」による)。

Yさん:水野和夫先生って国語科課題図書になっている『資本主義の終焉と歴史の危機』の著者でしょ。水野先生は、「9.11」「9.15」「3.11」を象徴的に捉えて(利率革命)を唱えています。(利率革命)とは、(28) (a)利率の傾向的上昇が長期にわたる、(b)金融テクニクにより利率を上昇させる、(c)利率の傾向的下落が長期にわたる、(d)政策によりゼロ金利が実現される}事態のことです。水野先生によると、(利率革命)の始まるの時期は(29) (a)1970、(b)1980、(c)1990、(d)2000年代にさかのぼってみることができます。

Wくん:「9.15」というのは、(30) (a)ニクソン・ショック、(b)リーマンブラザーズ・ショック、(c)プラザ・アコード、(d)サブプライム・デフォルトを指し、証券の格付け低下が起きた。その翌日(9.16)にはCDS[(ク)意味する英用語またはそのカタカナ表記]商品に関連して危機に陥ったAIGに対し、政府はこれまでとは一転して公的資金による救済を行なった。「資本の帝国」は、したたかに延命したと言える。しかし、水野先生はここに「金融資本主義」というあり方が限界に到っていると考えるんだ。

Yさん:私は、水野先生の見立てと主張に賛成します。金融資本主義的なあり方を終わりにさせなければならないと思います。ダニ・ロドリック先生の《世界経済における政治的トリレンマ》という枠組みを借りてみることにします。〈ハイパーグローバリゼーション〉に対抗するには、〈(ケ)〉と〈国家主権〉に依拠するしかないと思います。タックスヘイブン・オフショアを利用した税金逃れには、米国の「外国口座税務規律遵守法」[(コ)アルファベットの略記])のような法律で外国での金融資金口座情報を共有し、2015年のG20でも報告されたBEPSプロジェクトすなわち「(サ)侵食」と「(シ)移転」に対処する行動計画を現実化する必要があると思います。

Zさん:その上で、実体経済をゼロ成長の定常経済に切り替えていく必要があるだろう。ちょっと、例をあげて考えてみよう。――生産財部門と消費財部門の二つだけから成り立ち、労働者のみが生産手段を使い価値生産している単純再生産(定常経済)の資本主義経済を考えてみる。生産財は単年度で全て消費され生産物に組み込まれ、また労働者賃金と資本家利潤はすべて生活費用として消費財購入に充てられ過不足なく消費されるとする。また、利潤と労働者賃金は同率。生産財部門の生産物総額は400で消費財部門は300、合計700。生産財部門総投下資本は320(そのうち賃金総額は80)、消費財部門総投下資本は230であった。この経済社会の消費財部門生産手段総額は(ス)、社会全体での労働者の賃金総額は(セ)である。生産条件が同じで生産効率が変わらない中で、資本家利潤が20増加された場合、社会全体での労働者の賃金総額は(ソ)となる。今日資本主義における所得のゼロサム状況は、おおよそこのような構造とみることができる。

Yさん:うへん。しかし、このケースで経済計算はそれでいいかもしれないけど、【C】根本的なところで、生産と消費という人類社会が「たぐいまれなる地球生態系」に依拠していることを、見落としているのじゃないかしら。「定常経済社会」を構想するには〈エネルギー〉観点だけでなく、それよりも大切な〈エントロピー〉観点から、捉えることが必要だと思います。

Xくん:わーっ、Yさんって超リケジョ優等生！ mappy先生の一歩弟子だ。お願い、♡ my teacher ♡になって！

Wくん:時事で？ 日ロの首脳会談は目前！ 日ロ平和条約への大きな難題「北方領土問題」、どうする？

ちやう月あきやつ月 最終回、mapiに、前から読んでも 後ろから読んでも 同じ「回文」にチャレンジしてもらっちゃい mapi. Mapi: はあーい、くよしな 取引 プーチンさん チーズ取引 なしよ>とかいって ENDING. エターナル・チャオ！

(安心して下さい。いつまでも ついてます♡)

Mapi & ちやう月あきやつ月 御覧 「1年間のお付き合い ありがとうございます。」 [一同 涙々と一礼]

【きやつびい問題の正解】 ①カピバラ仲間 ②八王子松姫マッピーとmappy (どちらがお好み?) ③永遠なれ! きやつ Pi 戦隊!! [サンキュー♡]

【問A】「ワシントン・ウォール街・IMFコンセンサス」とはどのようなことを指摘する批判か明らかにし、〈IMFコンディショナリティ〉の特徴を挙げ、それが結果として「売られ、買い叩かれるアジア」をもたらしたことを説明しなさい。

【問B】《流動性の危機》、《金融の量的緩和》政策、《質への逃避》を、それぞれ説明しなさい。そして、その上で、それが〈景気後退を長引かせる結果となっている〉とするZさんの主張を論評しなさい。

【問C】地球生態系を〈エネルギー〉と〈エントロピー〉の両観点から評価し、さらに、資源物理学的立場から「定常経済社会」とはどのようなあり方なのか、論じなさい。

$$\ll E = mc^2 \gg$$

お元気で

問題は、以上です。

ちやう月あきやつ月
mapi